

city @ life

都市のしくみと暮らし

no.104

summer

2012



特集

エリア・スタディ・シリーズ
地産地消エネルギーのまちづくり



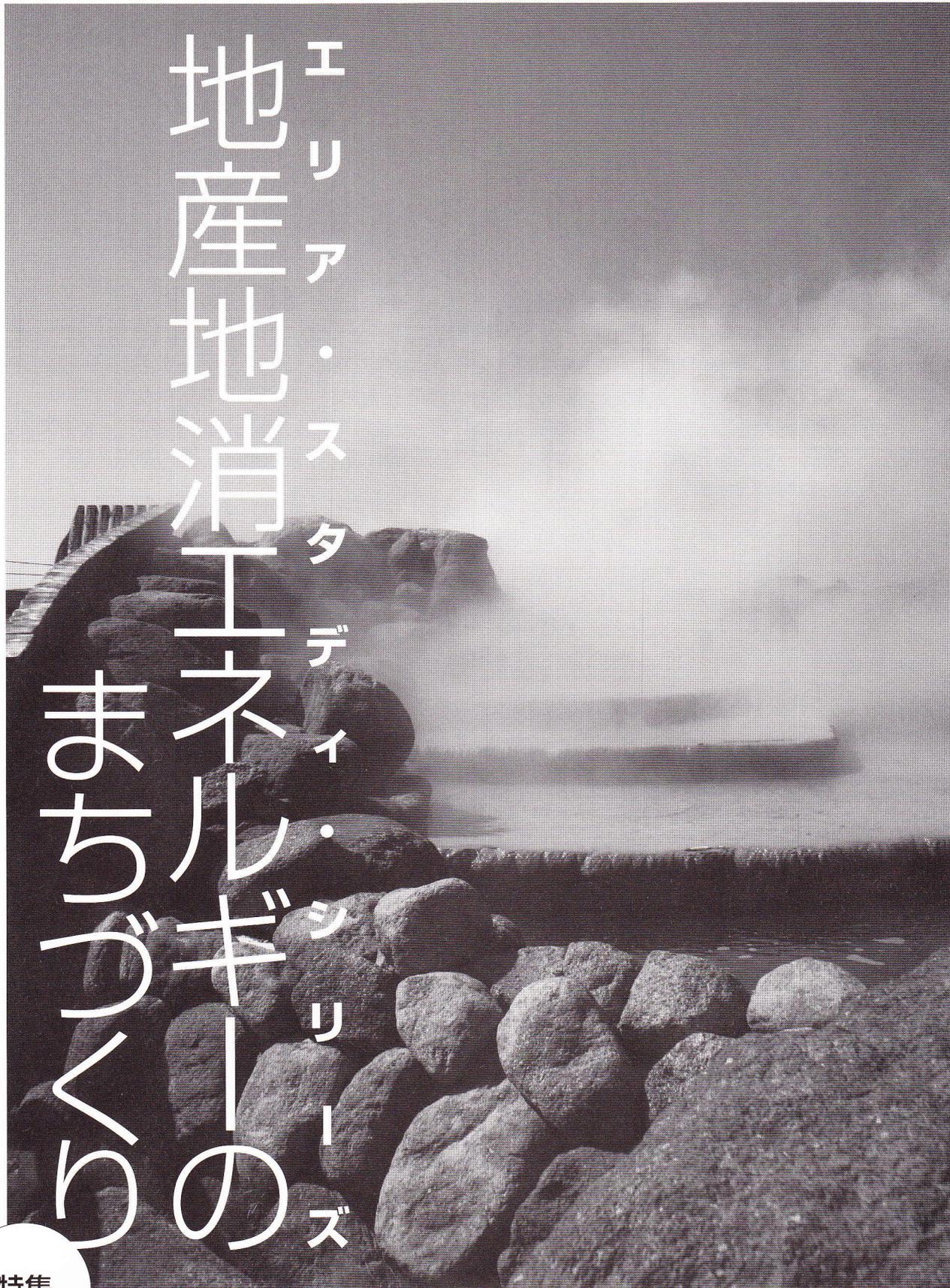
表紙——栃木県那須塩原市 (関連記事:p12)
裏表紙——長野県飯田市 (関連記事:p2)
photo:秋山由樹

特集

エリア・スタディ・シリーズ
地産地消エネルギーのまちづくり

contents

長野県飯田市 市民ファンドで、エネルギーを「創造」する	
太陽光発電を中心に、「エネルギーの地産地消」を目指す	2
栃木県那須塩原市 農業用水路を使った「小水力発電」	
水を長年管理してきた経験を踏まえ、エネルギーを効率よく生み出す	12
長崎県雲仙市・小浜温泉 資源豊富な地熱エネルギーで、 温泉街の復活を目指す	
未利用温泉熱を利用した小規模バイナリー発電とまちづくり	20
連載 震災復興Report② 住民のコミュニケーションを原動力とした 集団高台移転	
宮城県気仙沼市本吉町小泉地区	30
連載 都市を拓いた人々⑧ 豊岡 中江種造	
郷土に上水道をもたらした鉱山王	34
連載 relay essay 私の好きなまち・くらし③ 柳橋花柳界の原風景	
陣内秀信	39
back number・information	40



特集

自然エネルギーへの転換を模索する動きが、全国的に広がっている。自然エネルギーとは、太陽光・太陽熱、風力、水力・波力、地熱など、自然の力に由来するエネルギー資源のこと。「絶えず資源が補充されて、枯渇することのないエネルギー」であることから「再生可能エネルギー」とも言われる。

森林が国土の8割を占め、水も、温泉（地熱）も豊富な日本は、じつは、エネルギー資源が豊かな国だ。地域の特質、特性にあった自然エネルギーを、地域の資産として捉え、循環する仕組みをつくれれば、地域経済の活性化、雇用の創出も期待される。では具体的に、どのような取り組みが行われているのか。自然エネルギーの活用に、先駆的に取り組む地域を訪ね、現状と課題、これからの展望を探る。 photo: 斎藤夕子「長崎県雲仙市・小浜温泉」(関連記事:p20)